

# 専門家による継続的な支援で 課題解決と売り上げアップ

## 課題

### 急成長したことで 新たな課題に直面

M社は、ポンプ装置の開発・設計を行うほか、年間数百件の半導体向けチラーのメンテナンスを行っている会社だ。約5年前に、メインの取引先の業績が落ち込んだことをきっかけに、下請けからの脱却を図るべく、独自技術の向上と生産性向上に取り組みはじめたことで売り上げが増加。現在では、従業員も増えており、年齢層は50代のベテランから20代の若手まで幅広く、女性社員は4割を占めている。

同社が、白鷹町商工会に相談を寄せたのは、平成26年のことだった。

当時同社は、小ロット・多品種の製品が多く、納期遅れやスケジュールの不安定さが課題となっていたからである。

これを受け、商工会では、専門家による支援を実施し、複数回にわたってコンサルタントを派遣。現状分析や課題の抽出を行い、ここから支援がスタートした。

## 支援

### 専門家派遣や補助金活用で 伴走支援

専門家と商工会の支援のもと同社では、サイクルタイムの計算方法から、受注内容に合わせた生産ラインの考え方、人員配置などのムダの削減まで、さまざまな改善に取り組んだ。

そして、平成27年には、継続的な専門家支援を可能にするため、白鷹町に要望して独自の専門家派遣制度の予算を確保。これで月1回の派遣が可能となった。支援当初は設備の移動などの大掛かりな作業があったため、製造を停止する期間があり、成果は見えてこなかったが、1年を過ぎる頃にはサイクルタイムが大きく改善し始め、その結果、平成28年には、売り上げが伸び、収益も大幅に改善した。

この頃からは、製造だけでなく、総務や経理などの直接ラインと関係ない部門でもムダをなくす取り組みを始めている。部門ごとの取り組みと成果は2カ月に1度、社内発表会を設けて社内で共有。商工会も定期的に同席している。

またこの年、商工会ではものづくり補助金の申請についても金融機関と連携して支援。採択を受けた。

平成30年には、ISO9001、14001取得に向けた支援をスタートした。また、企業振興公社に相談し、専門家派遣制度を使うことになった（年間10回まで。費用は企業が2分



社内ミーティングの様子。部門を枠の越えた情報共有で活性化を図った

の1負担)。

このような継続した専門家派遣による支援により、同社の売り上げは大幅にアップ。4億円だった売り上げは、5年で約3倍の13億円にまで伸びている。

同社の支援では、商工会の制度だけでなく、町の補助金や金融機関との連携など、各支援機関の強みを活かした多方面からの支援によって成果が上がっており、商工会では、支援モデル企業として他社への波及効果を期待している。

## 支援の経過

期間	支援内容
H26年4月～	専門家派遣
H28年5月	ものづくり補助金の申請支援
通年	商談会・展示会参加
H30年7月	ISO取得支援

## 会社概要

会社名：M社  
住所：非公表（他同）  
電話番号：  
URL：  
代表者名：  
創業年月：  
年間売上高：  
従業員数：51名  
商工会名・担当者名：白鷹町商工会・千田隆行